

# 高知大学土佐さきがけプログラムグリーンサイエンス人材育成コース履修規則

平成24年3月28日

規則第114号

最終改正 令和2年3月25日規則第103号

## 第1章 総則

(趣旨)

第1条 高知大学土佐さきがけプログラムグリーンサイエンス人材育成コース（以下「GSコース」という。）に関する事項は、高知大学学則（以下「学則」という。）及び高知大学土佐さきがけプログラム規則に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

## 第2章 学士課程

(授業科目)

第2条 授業科目は、初年次科目、教養科目及び専門科目に区分する。

(卒業所要単位数)

第3条 卒業に必要な修得単位数は、次表のとおりとする。

科目区分	単位数
初年次科目	12
教養科目	22
専門科目	90
計	124

(履修方法)

第4条 各授業科目等の履修方法は、次のとおりとする。

(1) 初年次科目

「大学基礎論」2単位、「大学英語入門」2単位、「英会話」2単位、「情報処理」2単位、「学問基礎論」2単位及び「課題探求実践セミナー」2単位の合計12単位を履修しなければならない。

(2) 教養科目

教養科目で開設する授業科目の中から、次に定める科目を含めて22単位以上を履修しなければならない。そのうち2科目4単位以上は地域関連科目として定められている授業科目を履修しなければならない。

イ 外国語分野

中国語2単位以上を含めて、合計4単位以上を履修するものとする。

ロ 外国語分野以外の科目

人文、社会、生命・医療、自然、キャリア形成支援の5分野のうち人文分野及び社会分野の2分野を含めて履修するものとする。ただし、スポーツ科学講義及びスポーツ科学実技を合わせて4単位を超えないものとする。

(3) 専門科目

別表1に定めるところにより、90単位以上を履修しなければならない。

(4) 日本語科目及び日本事情に関する科目

外国人留学生及び外国において相当の期間、中等教育を受けた者は、次のとおり日本語科目及び日本事情に関する科目を履修し、卒業所要の単位とすることができる。

イ 日本語科目

初年次科目の英語又は教養科目の外国語分野科目として8単位まで履修し、卒業所要の単位とすることができる。

ロ 日本事情に関する科目

教養科目として8単位まで履修し、卒業所要の単位とすることができる。

(GS課題研究)

第5条 GS課題研究を履修しようとする学生は、3年以上在学し、卒業に必要な授業科目から別表2に定める科目を含み、100単位以上を修得していなければならない。

2 GS課題研究の研究報告は、所定の期日までに指導教員を経てコース長へ提出しなければならない。

(単位の計算方法)

第6条 科目に対する単位数は、次の基準によって計算する。

(1) 講義及び演習は15時間の授業をもって1単位とする。ただし、演習については、30時間の授業をもって1単位とすることができる。

(2) 初年次科目及び教養科目の外国語は、30時間の授業をもって1単位とする。

(3) 実験・実習・実技は、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、45時間の授業をもって1単位とすることができる。

(追試験)

第7条 追試験は、病気その他正当な理由のある場合に限り、土佐さきがけプログラム運

営委員会（以下「委員会」という。）の議を経て許可することがある。

- 2 追試験の願出は事前に行い、やむを得ない場合は、当該試験終了後1週間以内に行わなければならない。

### 第3章 修士課程

#### （教育方法）

第8条 GSコースの教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）等によって行う。

- 2 GSコースにおいて、教育上有益と認めるときに限り、他の大学院又は本学以外の研究機関と連携して授業又は研究指導を行うことができる。

#### （教育方法の特例）

第9条 GSコースにおいて、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

#### （指導教員）

第10条 GSコースの教育、研究及び学位論文指導のため指導教員を置く。

- 2 指導教員は、GSコースを担当する教授、准教授、講師又は助教をもって充てる。

#### （履修科目及び単位数）

第11条 履修すべき授業科目は、指導教員の指導を受けて定めるものとし、その修得すべき単位数は別表3に定める授業科目の中から30単位以上とする。

- 2 学生は、他の専攻の授業科目を履修することができる。
- 3 GSコースにおいて教育上有益と認めるときは、学則第65条の規定に基づき、他の大学院又は外国の大学院若しくは国際連合大学の授業科目を履修することができる。
- 4 第2項の授業科目は、4単位以内に限り第1項の履修単位数に含めることができる。

#### （履修科目の届出）

第12条 学生は、あらかじめ、履修しようとする授業科目を所定の期間内に授業担当教員に届け出て承認を受けなければならない。

#### （単位の認定）

第13条 単位の認定は、授業担当教員が行う。

- 2 第11条第3項及び学則第72条第2項の規定により修得した単位を、第11条第1項に規定する単位数に算入する場合の認定は、委員会が行う。

(学位論文の提出)

第14条 学位論文の提出は、原則として1年以上在学し、10単位以上を修得した者でなければならない。

2 学位論文は、所定の期間内に指導教員の承認を得て、コース長に提出しなければならない。

3 前2項に定めるもののほか、学位論文の審査及び試験に関し必要な事項は、別に定める。

第4章 その他

(資格取得)

第15条 資格取得のための教育課程は、別に定める。

(雑則)

第16条 この規則に定めるもののほか、GSコースに関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (平成25年2月21日規則第67号)

この規則は、平成25年4月1日から施行し、平成24年度入学生から適用する。ただし、「夏の体験授業—自然と農業」及び「精密合成化学」の改正規定について、平成24年度入学生は、なお従前の例による。

附 則 (平成26年3月25日規則第90号)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年2月24日規則第80号)

1 この規則は、平成27年4月1日から施行する。

2 平成26年度以前の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平成28年2月22日規則第72号)

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

2 平成27年度以前の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則 (平成29年3月13日規則第81号)

1 この規則は、平成29年4月1日から施行する。

- 2 平成28年度以前の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成30年4月16日規則第8号）

- 1 この規則は、平成30年4月16日から施行し、平成30年4月1日から適用する。
- 2 平成29年度以前の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（平成31年2月27日規則第76号）

- 1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。
- 2 平成30年度以前の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則（令和2年3月25日規則第103号）

- 1 この規則は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 令和元年度以前の入学生については、改正後の規則の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表1 (第4条関係)

区分	授業科目	単位数		選択 必修等	備考	
		必修	選択			
【学士課程】 専門科目	G S 特別講義I	2				
	G S 特別講義II	2				
	G S 実験I	2				
	G S 実験II	2				
	G S 実験III	2				
	G S 実験IV	2				
	G S 課題研究	8				
	基礎科目群	物理学概論	2			
		化学概論		2	うち 2単位	
		生物学概論		2		
		地球科学概論		2		
		情報科学概論		2		
		基礎物理学実験		2		
		基礎化学実験I		1		
		基礎化学実験II		1		
		基礎生物学実験		2		
		基礎地学実験		2		
		理工系数学(論理と集合)		2		
		理工系微分積分学		2		
		理工系線形代数学		2		
		科学者・技術者倫理	2			
		リスクマネジメント	2			
		科学英語	2			
		理工学英語ゼミナールI	2			
		理工学英語ゼミナールII	2			
		基礎有機化学	2			
		基礎物理化学	2			
		基礎無機化学	2			
		基礎分子生物学		2		
		基礎生化学		2		
		理工学情報処理演習	2			
	化学生命理工学実験 I	2				
化学生命理工学実験 II		2				
【学士課程】 専門科目	分析化学I	2				
	物理化学I	2				
	有機化学I	2				
	無機化学I	2				
	分子生物学		2			
	細胞機能学I		2			
	分析化学II	2				
	物理化学II	2				
	有機化学II	2				
	無機化学II	2				
	細胞機能学II		2			
	分析化学演習	2				
	物理化学演習	2				
	有機化学演習	2				
	無機化学演習	2				
	分子細胞生物学演習		2			
	無機・物理化学実験	2				
	有機・高分子化学実験	2				
	遺伝子工学実験		1			
	細胞機能工学実験		1			
海洋生命理工学実験		1				
生命分子工学実験		1				

専門科目群	生化学実験	1		
	タンパク質科学	2		
	量子化学	2		
	物性科学序論	2		
	代謝生理学	2		
	天然物化学	2		
	錯体化学	2		
	光機能創成化学	2		
	生体分子機能工学	2		
	先端機器分析学I	2		
	反応工学	2		
	電気分析化学	2		
	有機材料化学	2		
	先端機器分析学II	2		
	ケミカルバイオロジー	2		
	生命分子工学	2		
	発生工学	2		
	細胞工学	2		
	高分子化学	2		
	無機材料化学	2		
	遺伝子工学	2		
	進化生物学	2		
	幹細胞生物学	2		
	最新化学特論	1		
	最新生命科学特論	2		
	最新応用化学特論	1		
	化学生命理工学特論I	1		
	化学生命理工学特論II	1		
	研究セミナーI	2		
	研究セミナーII	2		
	Japanese Studies I : Language	2		
	Japanese Studies II : Culture	2		
Japanese Studies III : Kochi Studies	2			
合計	70	20		

別表2(第5条関係)

区 分	授 業 科 目	単 位 数	備 考
初 年 次 科 目		12単位	(中国語 2単位を含む)
教 養 科 目	外 国 語 分 野 科 目	4単位	
専 門 科 目	物 理 学 概 論	2単位	
	科 学 英 語	2単位	
	理 工 学 英 語 ゼ ミ ナ ー ル I	2単位	
	理 工 学 情 報 処 理 演 習	2単位	
	G S 特 別 講 義 I	2単位	
	G S 特 別 講 義 II	2単位	
	G S 実 験 I	2単位	
	G S 実 験 II	2単位	
G S 実 験 III	2単位		
G S 実 験 IV	2単位		
合 計		36単位	



別表 3 (第11条関係)

区分	授業科目	単位数		備考
		必修	選択	
【修士課程】 専攻科目	G S 特別研究	10		} 選択必修
	G S ゼミナールI	2		
	G S ゼミナールII	2		
	G S 特論	2		
	学術論文作成セミナー	2		
	海外インターン	2		
	G S リサーチプロポーザル		2	
	G S 企業インターン		2	
	有機合成化学特論		2	
	生体分子化学特論		2	
	機能物質化学特論		2	
	配位化学特論		2	
	溶液反応化学特論		2	
	機能材料化学特論		2	
	錯体化学特論		2	
	結晶物理化学特論		2	
	触媒化学特論		2	
	有機金属化学特論		2	
	無機材料科学特論		2	
	分離化学特論		2	
	有機構造物性化学特論		2	
	光物質変換化学特論		2	
	超分子化学特論		2	
	細胞分子工学特論		2	
	発生生物学特論		2	
	構造生物化学特論		2	
	遺伝子工学特論		2	
合 計	20	10		